

6月度例会報告

2018年6月度の東京設計管理研究会「第490回 設計革新セミナー」は大田区西蒲田の株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズにて高島会長の開会の挨拶に続いて開催されました。参加者19名。終了後講師を囲んでの懇親会も盛り上がりしました。



高島会長

1. 発表「CADデータの品質が業務効率を決める！ ～クラウドデータ品質管理サービス 『CADデータチェッカー』～」

発表者：NTTデータエンジニアリングシステムズ
クラウドサービス事業部 服部 正太郎 氏



発表者 服部 氏

2 研究部会ディスカッション

各研究部会の参加メンバーが少なく、当初は研究会ごとのディスカッションを考えておりましたが、各研究部会のテーマに沿って全員でディスカッションを行うことに変更しました。

1.設計管理研究部会 コーディネーター 高島 氏
AI時代の設計作業について、実際の設計作業をシミュレーションし、自動化が期待できる領域とその為の要件について意見交換。

2.設計手法研究部会 コーディネーター 石塚 氏
PSDソルバーの適用アイテムや方法についての討議

3.教育研究部会 コーディネーター 吉川 氏
設計者に必要な資質⇒人間力+専門性。人間力＝「知情意」、「知・情・意」についての討議

4.広報研究部会 コーディネーター 吉田 氏
2018年イベントの検討。会員増の為会員の関係先・関西EACメンバーからの紹介をどのように進めるか討議。



1.設計管理研究部会 コーディネーター 高島 氏



2.設計手法研究部会 コーディネーター 石塚 氏



3.教育研究部会 コーディネーター 吉川 氏